

自己評価（前年度）

※「幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価」のチェック項目を用いて自己評価しています

幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価				
データ 分析 表	データ表			データグラフ
	内容	項目数	平均	
	「乳児保育」	15	4.73	
	「3歳未満児保育」	32	4.81	
	「3歳以上児保育」	53	4.15	
	「教育保育の配慮事項」	16	4.38	
	「健康・安全」	29	4.52	
	「子育ての支援」	18	4.17	
	「職員の資質向上」	9	4.11	
計	172	4.41		
総合 評価	<p>全体的な評価としては、職員全体でチームワークを重視して、教育・保育に取り組んでいることが認識できた自己評価になった。そこが強みとして、園全体の質の向上やチームワークへと繋げていきたい</p> <p>弱点として、3歳以上児と、職員の資質向上の点ができていないと感じている。課題の克服に対して、職員間での共有や話し合いを重ねていくことで問題点を浮き彫りにしていきたい</p>			

事業計画（今年度の重点目標）

項目	内容
職員・職員の家族との「信頼」の構築	ファシリテーターを設置しての、グループ会議を行う（年12回）
こども・子ども・高齢者・障害者との「信任」の構築	養護に特化した園内研修の実施を行う（年2回）
保護者との「信頼」の構築	教育・保育説明会の実施や、プロジェクトを絡めた行事を開催する（年3回）